



脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業

2026年度第1回公募 制度説明会

2026年2月10日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

事業統括部 国際1課

目 次

1. 事業概要	P. 3～11
2. 応募資格	P.12～17
3. 応募方法(プレエントリー)	P.18～25
4. スケジュール等	P.26～28

1. 事業概要

1. ①目的

- 我が国が強みを有するS+3E(安全性、安定供給、経済性、環境適合)の実現に資する技術を対象に、我が国と環境が異なる海外での実証を通じて、当該技術の開発に資するとともに有効性を示し、国内外での普及に結び付ける。この取組を通じて、我が国のエネルギー関連産業の普及展開、国内外のエネルギー転換・脱炭素化、我が国のエネルギーセキュリティに貢献することを目的としている。
- 国内事業と同様に基本計画で目的や方法などを定めている。



1. ②実施例

米州

- レドックスフロー電池(アメリカ)
- 都市間EV充電所(アメリカ)
- 省エネビル(アメリカ)
- ハイブリッドインバーター(カナダ)

欧州

- 地産地消型スマートコミュニティ(ドイツ)
- ハイブリッド蓄電池システム(ドイツ)
- 直流送電システム(イタリア)
- 空調デマンドレスポンス(ポルトガル)
- コジェネレーションシステム(ウズベキスタン)
- スマートコミュニティ(スロベニア)
- スマートグリッド(ポーランド)

北東アジア

- バイオエタノール(中国)
- 省エネビル(中国)
- エネルギーマネジメントシステム(中国)

中東・アフリカ

- 省エネ型排水再生システム(サウジアラビア)
- 省エネ型海水淡水化(サウジアラビア)
- 省エネ型海水淡水化・水再利用(南アフリカ)

ASEAN

- 産業廃棄物発電(ベトナム)
- セルロース糖製造システム(タイ)
- EVバス運行システム(マレーシア)
- 新公共交通システム(フィリピン)
- 電動二輪車電池シェアリング(インドネシア)
- 圧縮天然ガス(CNG)車(インドネシア)

インド

- 大規模太陽光発電システム
- スマートグリッド
- 製鉄所エネルギーセンター
- グリーンホスピタル

※NEDO海外事務所が必要に応じて支援。

米州(ワシントン、シリコンバレー)

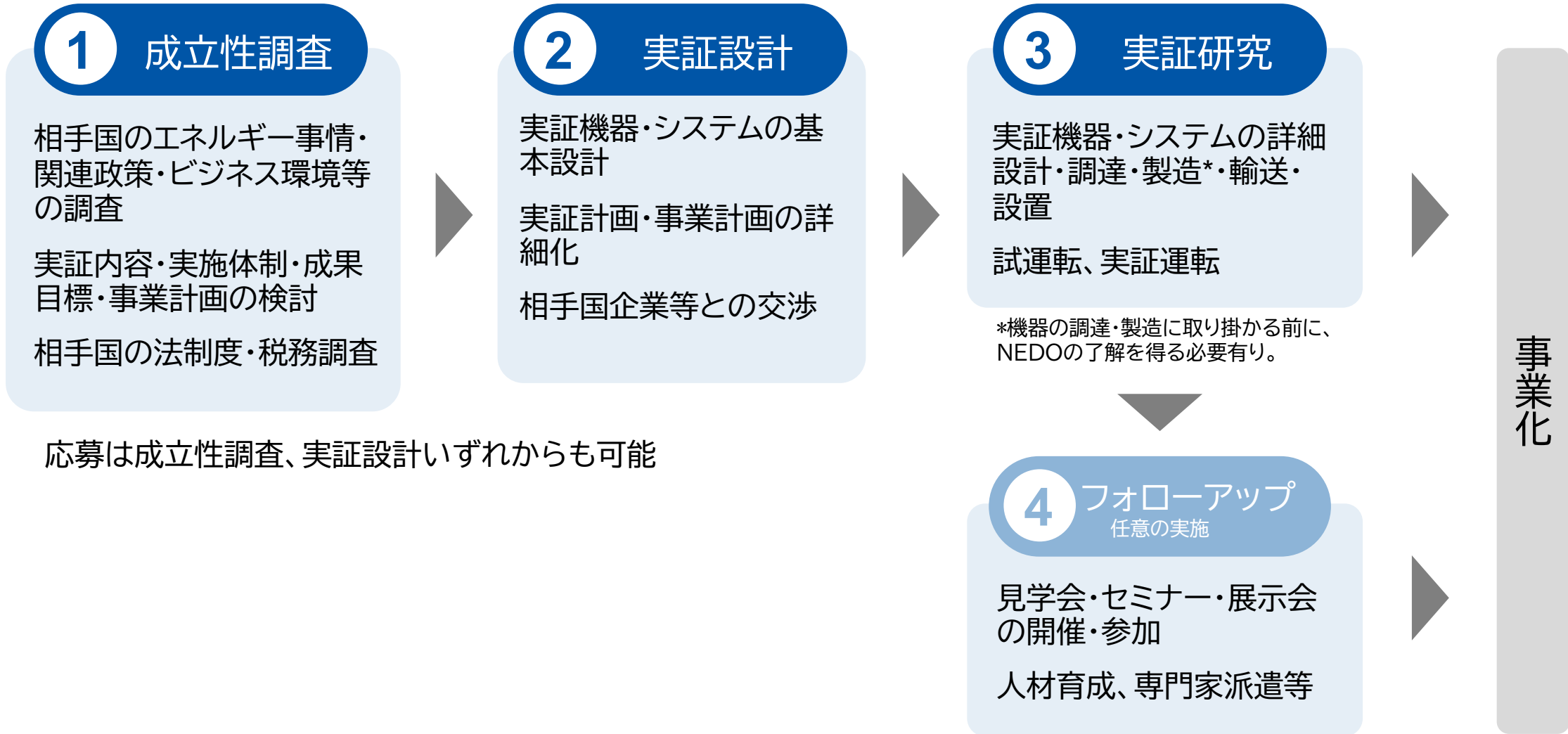
欧州(パリ)

インド(ニューデリー)

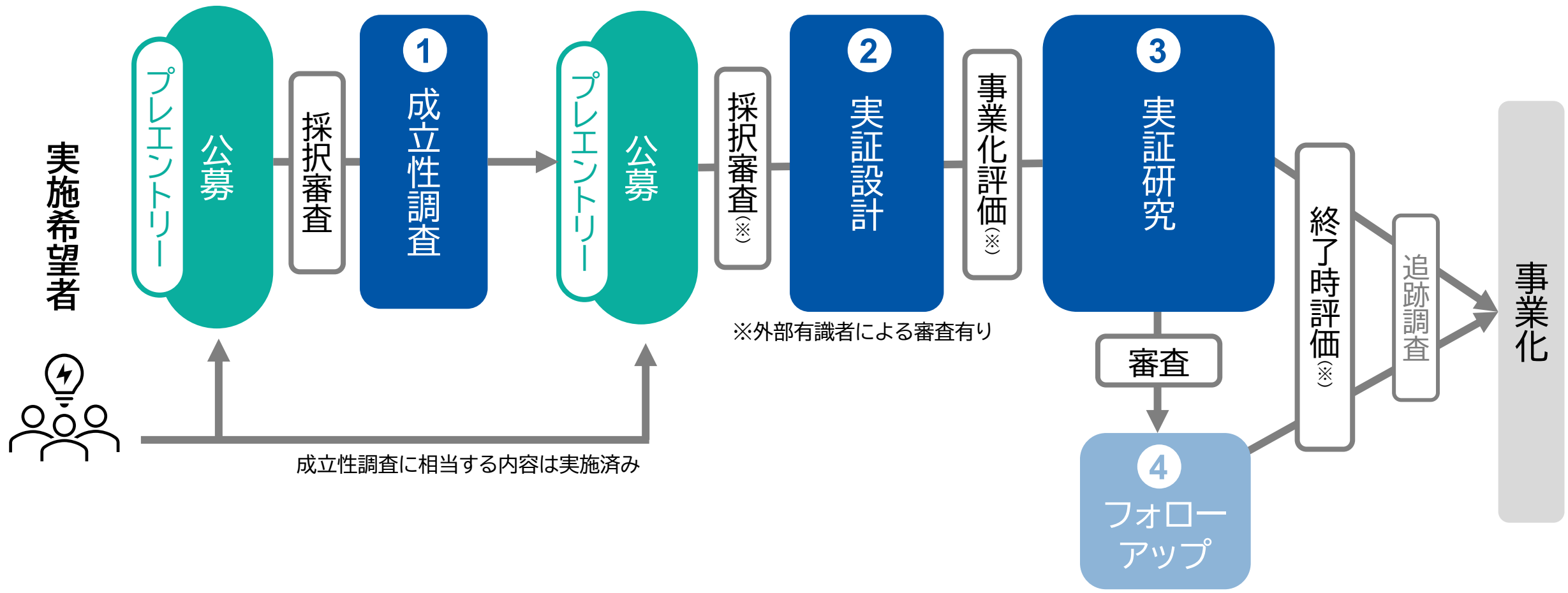
ASEAN(バンコク、ジャカルタ)

北東アジア(北京)

1. ③事業の構成



1. ④応募からの流れ



1. ⑤実施形態、予算、期間

成立性調査は**委託事業**、実証設計・実証研究・フォローアップは**補助事業**として実施。
補助事業の予算規模は事業者負担分を含む1テーマあたりの額。

		①成立性調査	②実証設計	③実証研究	④フォローアップ	
期間(原則)		1年以内	1年半以内	3年以内	1年以内	対象費用
予算規模(原則)	委託	2,000万円以内	—	—	—	労務費、その他経費、間接経費、再委託費(原則不可)
	補助	—	4,000万円以内	40億円以内	2,000万円以内	機械装置等費([3]のみ)、 労務費、その他経費、委託費・共同研究費 補助率:大企業1/2、中小・ベンチャー企業2/3

1. ⑥成立性調査への応募の目安

実証研究を進めるために必要な調査であることが前提になります

- 現地のニーズと政策を調べ、当該国で実証を行う意義とその際の技術課題とが整理されている。
- 相手国企業、実施サイト、成果目標等の方向性が整理され、必要な手続やスケジュールを含め、実証に向けた構想が描けている。
- 市場や競合の状況を踏まえて、実証後のビジネスモデルが描けている。

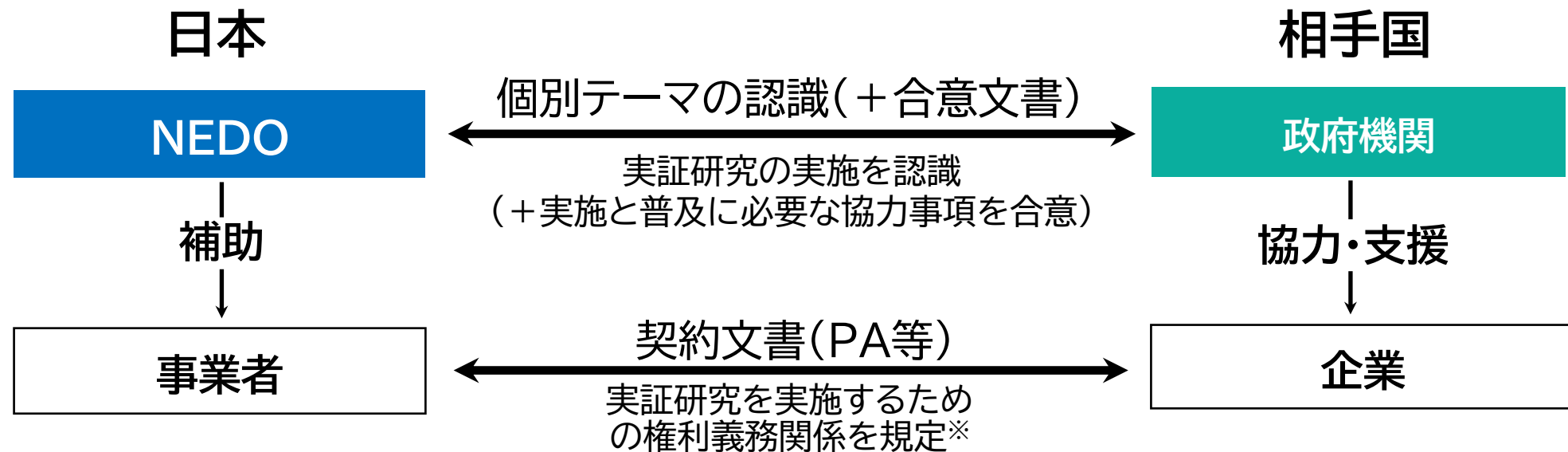
1. ⑦実証設計への応募の目安

成立性調査に相当する内容が実施済みであることが前提になります

- 現地調査や相手国政府機関等へのヒアリングにより**現地のニーズ**を把握し、それに応える**技術が提案**されている。
- 提案技術が普及するために乗り越えるべき**技術課題**が示され、その解決に役立つ**実証研究が計画**され、必要な**目標が設定**されている。
- **NEDOの規程**(特に、取得財産の所有と処分制限、収入の控除、収益納付)を考慮した**実施体制が構築**され、資金計画が立てられている。
- 実証の実施に**必要な情報(相手国の法令や税務を含む)**を収集し、それらを**反映した実施体制や実証計画が作成**されている。
- 市場分析、競合分析を踏まえた**ビジネスモデルが構築**され、**普及時の経済的な優位性が定量的に示**されている。

1. ⑧実証研究の体制

- 補助事業者と相手国企業との間で**契約文書(Project Agreement 等)**を締結することが実証研究を開始するための条件となる。締結できない場合は、たとえ事業化評価で実証研究へ進むことが決まっても、実証研究を開始することはできない。
- NEDOと相手国政府機関との間で必要に応じて**合意文書**を締結し、事業者の活動を支援することが可能。
- 補助事業者とNEDOの関係は、**国際実証研究費補助金交付規程**に基づき規定される。



※必要な規定内容等は「[実証設計以降の実施内容及び手続説明](#)」参照

2. 応募資格

2. ①対象とする技術、実証研究の要件

1. 顕著なエネルギー消費削減効果・化石燃料代替効果が期待できる我が国の技術。
2. 実証研究の終了後、国内外市場での普及が期待される技術であること。
3. 提案者が過去に実施した事業と比べて、技術又はその使用形態に十分な差異があること（重複の排除）。
4. 実用化に向けた技術課題が明確であること、又は実証を行う国・地域特有の運用上の課題が明確であること。
（課題がない製品・設備の導入補助事業ではないが、日本では確立された技術でも、異なる現地環境下での運用に技術的リスクがあるものは対象）。なお、「新規性」は必須ではない。
5. 右の対象技術分野のいずれかに当てはまるもの。

水素・アンモニア

再生可能エネルギー

サーキュラーエコノミー

半導体・情報インフラ

AI・ロボット

バイオテクノロジー・材料

自動車・蓄電池

航空機・宇宙

省エネルギー

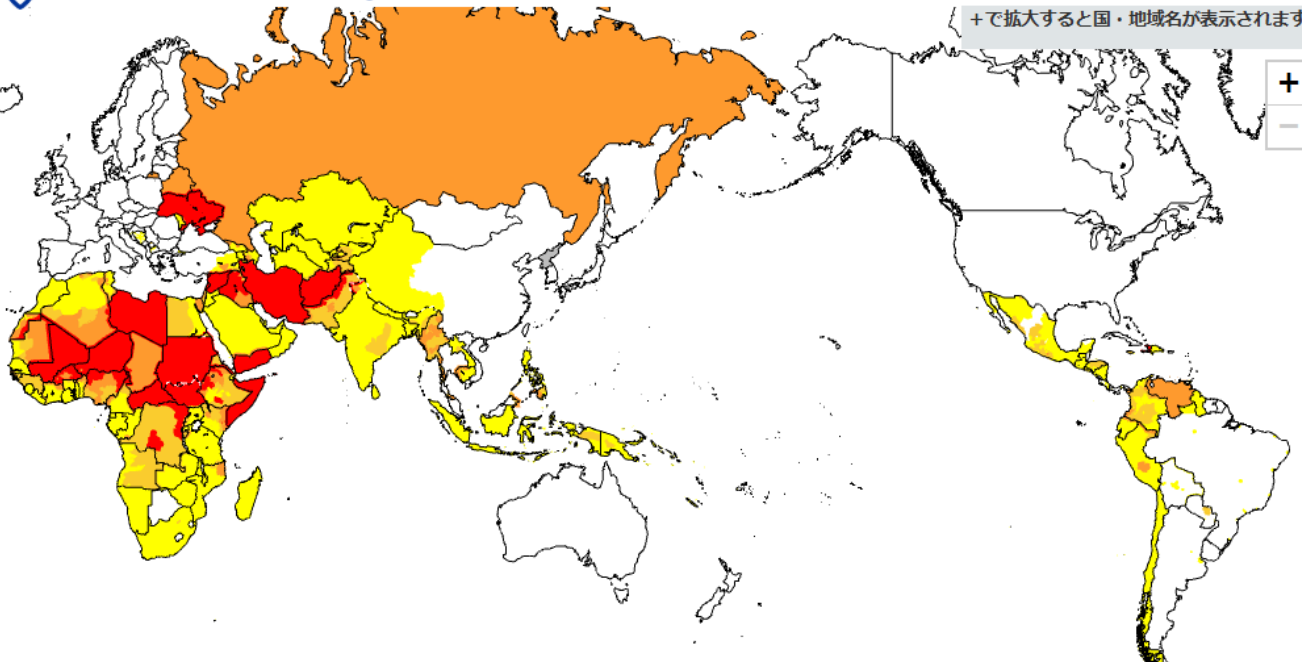
2. ②対象国・地域

- 本邦域外におけるすべての国・地域。
- ただし、[外務省海外安全情報](#)の危険情報(感染症危険情報は含まない)において、レベル2(不要不急の渡航は止めてください)以上に指定されている国・地域は除く。

危険情報
感染症危険情報

📍 国・地域別の海外安全情報
🗺️ 地図をクリックしてください
📄 海外安全情報とは？

+で拡大すると国・地域名が表示されます。



+
-

🔍 国・地域名からの検索

検索

危険レベル

- レベル1 十分注意してください。
- レベル2 不要不急の渡航は止めてください。
- レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
- レベル4 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

[危険情報一覧](#)

📄 必ず登録を！

最新の海外安全情報をメールでお届けします。
緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます。

3ヶ月未満の渡航



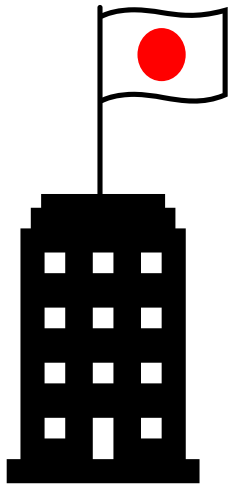
3ヶ月以上の渡航



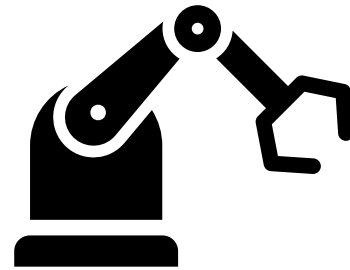


2. ③提案者の資格 - 成立性調査

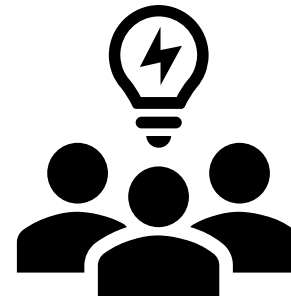
日本法人
外国法人は
別要件有



技術



実証の構想



プレエントリー
実施



2. ④提案者の資格 -実証設計

日本法人
外国法人は
別要件有

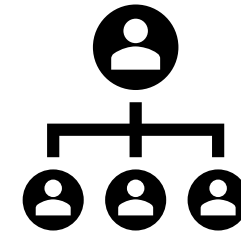
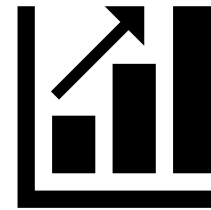
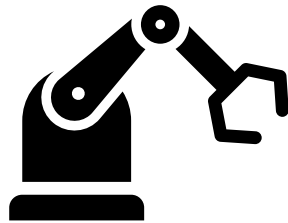
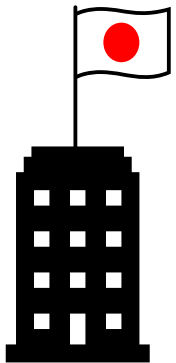
技術

相手国企業
との体制

企業化計画

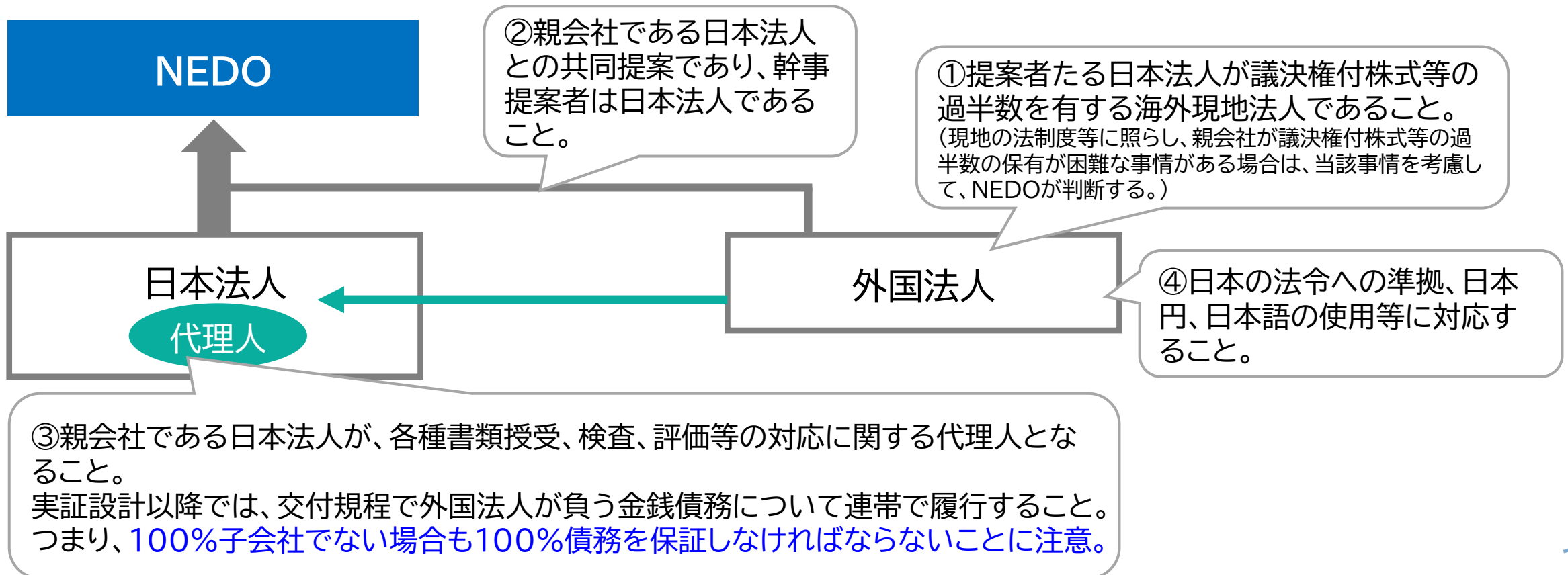
経理的
基盤・体制

プレエント
リー実施



2. ⑤外国法人の提案資格

国費を使うため提案者は日本法人(登記法人)を原則としているが、現地で実証研究やビジネス展開のためには海外現地法人との連携が重要であることから、①から④の4つの要件全てを満たす場合は、海外現地法人も共同提案者として提案することができる。



3. 応募方法(プレエントリー)

3. ①プレエントリーとは

応募する前に、プレエントリーが必須です

- 2025年度第2回公募から必須とした応募前の相談を「プレエントリー」へ改称しました。
- 3月3日(火)までに、プレエントリー申請を行ってください。
- プレエントリー申請書をもとにNEDOと面談を行い、その中で技術開発課題を確認し、対象となる技術分野を確定します。
- プレエントリー面談は、対面/Teamsいずれも可能です。
- 応募時は、プレエントリー面談で確定した分野を選択してください。

3. ②プレエントリーと案件相談の違い

	プレエントリー	案件相談
位置付け	応募する際は 必須	任意
実施時期	公募予告～公募開始前	いつでも(通年)
目的	応募にあたり、 技術課題を確認し、対象分野を確定 する	- 検討中の案件について、事業への適合性を相談 - 対象国や技術課題を検討中でも相談可能
申し込み方法	「プレエントリー申請書」をメール送付	「ご相談フォーマット」をメール送付

3. ③プレエントリー申請書の記載ポイント - その1

①対象技術分野

- プレエントリー申請時は複数選択が可能です。プレエントリー面談で1つに絞ってください(最終確定)。
- 各技術分野の内容については、[事業紹介ページ](#)でご確認ください。
(ご参考:本資料P.13)



3. ④プレエントリー申請書の記載ポイント - その2

②実証研究概要

以下を明確に記載してください。

- 対象国・地域におけるエネルギーに関する課題を、どのような技術でどのように解決するか
- 実証研究における技術課題は何か
- 実証研究の終了後、普及が期待できる技術か

3. ⑤プレエントリー申請書の記載ポイント - その3

③技術課題

- 「国内外での実績が無いことや、あるいは実証を行う国・地域特有の理由により発生しうる、普及に向けた技術的な障害」を指します。
- 新規性は必須ではありません。

3. ⑥プレエントリー申請の方法

- 「プレエントリー申請書」を記入し、下記までメール送付してください。

NEDO事業統括部 国際1課

kokusaijissyou@ml.nedo.go.jp

- 折り返し、NEDOから面談の日程調整の連絡をします。
- プレエントリーは受付順に受理します。締め切り(3/3)直前に申し込まれた場合は、希望日時で面談が設定できない可能性がありますのでご留意ください。

3. ⑦Jグランツについて

- 応募受付はJグランツ上で行います。
- Jグランツでの応募には、GビズIDプライムまたはGビズIDメンバーのアカウントが必要です。
- GビズIDのご準備をお願いします。
- 詳細は下記をご覧ください。

[NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について](#)



4. スケジュール等

4. ①スケジュール

2月2日 予告掲載／プレエントリー申請開始

2月10日 制度説明会

3月3日 プレエントリー申請期限

3月下旬 公募開始

3月26日 応募手続き説明会

公募期間は、「成立性調査」「実証設計」とともに、公募開始より4週間程度の予定です。

公募開始時期は変更する可能性があります。

4. ②お問い合わせ

2026年度第1回公募の詳細(公募要領等)については、本公募を開始した際にお知らせします。
プレエントリーや事業のしくみに関するご質問は、下記までお問い合わせください。

NEDO事業統括部 国際1課

Mail: kokusaijissyou@ml.nedo.go.jp